

問一

次の例のように正しい方を選んで

に書きましょう。

(例) 「気付く」

きづく
きずく



きづく

① 「通る」

とうる
とおる

とおる

② 「陽気」

ようき
よおき

ようき

③ 「かき氷」

かきごうり
かきごおり

かきごおり

④ 「鼻血」

はなぢ
はなじ

はなぢ

⑤ 「地面」

ぢめん
じめん

じめん

「地」は「大地」の「ち」だから、「ぢ」と間違えやすいね。でも、「地震」「布地」なども「じ」と表記するんだよ。

問二

次の例のように、文中の間違って^{まちが}いるかなづかいを二つ探して^{さが}線を^{せん}引き、正しく直して書きましょう。(二つともできて正解^{せいがい})

(例) ゾオが^{ぞう} エサを^{エサを} たべる。
おねえさんと^{おねえさん}

そうじき

かけた。

「築く」は「きづく」、
「気付く」は「きづく」、
かなづかいの違い^{ちが}に気をつけよう。

② 大きな ぢしんに^{ぢしん} そなえて、かいちゅうでんとうを^{よおい} よおい

する。

③ つまり、「この^{には} しろを^{きづいた} ぎづいたのは徳川家康だ。」とゆう^{いう} こと^は ことです。

にわとり

④ 「にわにわ^{には} にわ^{には} にはとりが^{いる} いる。」は、ゆうめいな^{きづいた} 早口言葉だ。

きづいた

⑤ 「ゴムは^{のびたり} のびたり^{ちじんだり} する」という^{せいしつに} せいしつに^{きづいた} ぎづいた。

